

<p>実地試験</p>	<p>気中濃度推移測定データー 白対協の防除施工標準仕様に準じ施工した。 ピレトリン 10% マイクロカプセル剤 水で100倍希釈 (ピレトリン0.1%) 土壌処理量：約 3 ℓ/m²</p> <p style="text-align: center;">天然ピレトリン MC 「EC」 気中濃度測定結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th></th> <th>場所</th> <th>気中濃度 (μg/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="2">処理前</td> <td>床下</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>洋室</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td rowspan="3">処理中</td> <td>床下</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>台所</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>洋室</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>和室</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td rowspan="4">処理後 1 時間</td> <td>床下</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>台所</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>洋室</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>和室</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td rowspan="2">処理後 1 日</td> <td>台所</td> <td>< 1</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>洋室</td> <td>< 1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">検出限界値：1 μg/m³</p>	No		場所	気中濃度 (μg/m ³)	1	処理前	床下	< 1	2	洋室	< 1	3	処理中	床下	1	4	台所	1	5	洋室	< 1	6		和室	< 1	7	処理後 1 時間	床下	< 1	8	台所	< 1	9	洋室	< 1	10	和室	< 1	11	処理後 1 日	台所	< 1	12	洋室	< 1
No		場所	気中濃度 (μg/m ³)																																											
1	処理前	床下	< 1																																											
2		洋室	< 1																																											
3	処理中	床下	1																																											
4		台所	1																																											
5		洋室	< 1																																											
6		和室	< 1																																											
7	処理後 1 時間	床下	< 1																																											
8		台所	< 1																																											
9		洋室	< 1																																											
10		和室	< 1																																											
11	処理後 1 日	台所	< 1																																											
12		洋室	< 1																																											
<p>安全性について の所見</p>	<p>実地試験は、ピレトリン MC 剤を用いて行われている。ピレトリンは MC 化することにより、その安全性が大幅に改善される。 上記試験では、施工中の気中濃度も低く、床下で 1 μg/m³ でありその付近の台所でも同レベルで、薬剤処理後 1 時間経過すれば、検出限界 (1 μg/m³) 以下となる。この現象は、本剤がマイクロカプセル剤として使用される為、粒子が大きく、飛散も通常の乳剤と比べ少ないことによるものと判断される。仮に居住者 (体重 60kg, 呼吸量 20ℓ/分) が、0.001mg/m³ (1 μg/m³) の気中濃度のピレトリンを 1 日中吸い続け、全量体内に取り込んだとすると、1 日の摂取量は 0.00048mg/kg/日となる。この値は ADI 0.04mg/kg/日の 1/83 に相当し、本剤による施工の場合、安全性は十分確保されているものと判断される。</p>																																													
<p>備考</p>	<p>ピレトリンは、除虫菊 (シロバナムシヨケギク) の花から抽出された天然物殺虫成分である。 化学構造が決定された 6 種類の殺虫成分の混合物であり、ピレトリン I は、致死作用が優れ、ピレトリン II はノックダウン作用をもつ。ピレトリン I, II は、シネリン I, II, ジャスモリン I, II より殺虫力が強く、また、含有量が多いためそれらの有効成分分析を行い品質保証している。</p>																																													
<p>出典</p>	<p>天然ピレトリン MC 技術資料, MSDS ほか</p>																																													